

熊本県の春の教職員異動で、学校長の中川正利先生が熊本北高校へ転動され、天草高校には新しく岩寄毅校長先生が着任されました。着任のご挨拶をいただきましたので紹介します。

着任のご挨拶

母校の校長であること

天草高等学校校長

岩寄 毅

天草高校同窓会関西西図南会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。私は、この四月より天草高校校長を拝命されました岩寄毅と申します。着任後の近況報告を少しさせていただきます。いただきますいと存じます。

着任後、全日制、

定時制、倉岳校と三課程の会議が続ぎ、漸く入学式の式辞も完成し、一息ついた頃、一年主任から「入学式の翌日、新入生へ講話をお願いします。時間は40分確保します」と依頼がありました。思えば、前任の中川校長から、新入生訓話について聞かされていたような……。



天高OBの校長として、新入生に何を話すべきか一晩思案した結果、私は、四つのことを話すことにしました。

一つめは、天高の沿革。二つ目は、三綱領「正大」「剛健」「寛厚」の意味。三つめは校歌。作曲が犬童球溪によること、七五調の優雅な調子であること、「飛翔を習ふ雛鵬」から「図南」の翼の話をし、四番の歌詞の深さまで。そして、四つめは山並兼武先生のことについて。

私は、最後の山並先生について新入生に話をするにあたり、旧職員の上妻利博先生から頂戴した著書「一万日の男」山並兼武の紹介」の内容と先輩方から伺った逸話をもとに、山並先生がいかに優れた体育の指導者であり競技者であったか、天草高校開校以来定年を迎えられる日まで、雨の日も雪の日も、

祝日も長期休暇の間も一日も欠かさず早朝出勤をし、朝掃除を続けられたことなどを紹介するつもりでした。その上で、「山並精神」や「人前で輝く宝石よりも人知れず輝く星となれ」という本校に伝わる先生の言葉をについて触れようと考えていました。いよいよ、山並先生の話をするとうとき、私は、まず現在も体育館横に並べてある「山並鍬」を生徒たちの前に掲げ、「この鍬を見たことがある人はいいますか？」と問いました。正直

「山並鍬」を知る生徒はもう少なからうという予断が私にはありました。しかし、予想に反し生徒たちの過半数が挙手をしたのです。

そのときの感動は忘れられません。なぜなら、それは新入生たちの小・中学校で「山並鍬」が今も使用されているということに加え、天高で薫陶を受けた卒業生たちが、教師となり、校内美化を大切にすることや「山並精神」が継承されていることの証だと思ったからです。

私は、その後、自分の知る山並先生の人柄や功績について話をし、この継承こそ天草高校が忘れてはならないことだと伝えました。

いま、私は、母校の校長としてあることの幸せを噛みしめながら過ごしています。それは、母校の校長であるが故の責任の大きさも感じる日々でもあります。

微力ではありますが、身を粉にして努める所存ですので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。拙い文章で汗顔の極みではありますが、近況のご報告をもって、着任のご挨拶とさせていただきます。

岩寄校長先生は天草高校の卒業生で、高38回卒です。牛深高校校長からの転任です。



県代表として中村海斗さん（令和5年度卒業生）が国民体育大会九州ブロック大会で優勝し、「燃ゆるかごしま国体」に出場して、全国のトップ選手を相手に活躍されました。また、全国大会まであと一歩

天草高校 部活紹介

男子ソフトボール部

私たち男子ソフトボール部は、選手11名、マネージャー4名の計15名でOBの錦戸先生、瀧本先生の下で活動しています。全国大会への出場と全国大会で2勝することを目標に日々練習に励んでいます。人数は少ないですが、チームの団結力は強く、明るく真剣に練習に取り組めるチームです。

昨年度の高校総体では9年ぶりとなる決勝進出を決めました。決勝で熊本工業高校に惜敗して準優勝でした。その後の九州総体ではベスト8に勝ち残ることができました。加えて、熊本

天草高校男子ソフトボール部

全国大会出場

第42回全国高校ソフトボール選抜大会



天草高校男子ソフトボール部は第42回全国高校ソフトボール選抜大会に出場しました。昨春秋、熊本予選会で一回戦で宇土高校、準決勝で熊本工高、決勝で玉名工高を下して優勝しました。9年ぶり7度目の快挙です。

山口県宇部市で開催の全国大会では、一回戦で島根県の安来高校と対戦し、残念ながら8-11での惜敗でした。

一回戦で敗退しても、彼らの頑張りは私たちの誇りです。

で負けた悔しさからスタートした新チームは、10月に行われた第42回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会熊本予選会で優勝し、9年ぶり7回目となる全国選抜大会出場を決めることができました。3月22日に山口県宇部市で行われた全国選抜大会では、島根県代表の安来高校と対戦し、8対11で悔しい敗戦になりました。不慣れな全国大会で自分達の力を出し切ることができずに負けてしまい、改めて練習の姿勢から見直していこうと決意しました。「全国での悔しさは全国で晴らす」を

合言葉に、6月に行なわれる高校総体では必ず優勝し、インターハイで勝ち上がることを目標にさらに練習に励んでいきます。

3月に行われた全国選抜大会においては、同窓会の皆様から多くの御声援と御寄付金をいただき、大きな力となりました。感謝申し上げます。さらに練習に励み皆様にいい報告ができるように頑張ります。引き続き応援よろしく願います。

男子ソフトボール部主将 立川聖也



現在の天草高校



撮影 2023年11月



ホテルアグリシア
ガーデンズ天草



AGRIA
ホテルアグリシアガーデンズ
〒863-0001
熊本県天草市本瀬町11-20
TEL. 0960-22-3161

女子ソフトボール部



天草高校女子ソフトボール部は、3年生8名、2年生7名の15名で活動をしています。選手の中には、中学校時代にソフトボールの競技経験がある者もいますが、半数は高校に入学してから競技を始めた初心者です。練習では主体性を重視しており、自分たちの「なりたい」チームを追求しています。現在、チーム全体では「勝てるチーム」を目標にしています。ただし、勝利至上主義に縛られるのではなく、楽しくソフトボールをしながら勝利を目指すという、天草高校だからこそ実現できるチームです。

技術指導では深見隆吉監督の指導の下、部員一人一人がそれぞれの課題に向き合い、着実にレベルアップしてきています。令和5年度では、高校総体から勝てる試合が増え始め、9月には県予選を2位で勝ち上がり、3月に熊本県代表として第30回全九州公立高等学校ソフトボール研修大会に出場することができました。

コロナ禍で制限されていた練習試合や遠征も、ようやく通常通り実施できるようになってきました。時には泊まりがけで県外に遠征することもありますが、このような私たちの活動を支えてくださっているのが、保護者会をはじめとする地域の方々です。天草の外での試合であるにも関わらず、多くの方々から温かい応援をいただくこともあります。練習環境についてもご支援をいただくことが多く、昨年12月には練習場にナイター設備を付けていただきました。これまで真冬は暗くてボールを使う練習ができない環境でしたが、より充実した練習環境になったことで一層実力がつきました。



女子ソフトボール部主将 寺田果南

今後も、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、胸を張って「天草高校」の名を背負って立てるチームになるべく頑張っていきたいと思っています。



 大阪キャッスルホテル

水と緑・なにわの旅情
ご宿泊から会議・宴会まで



株式会社 オオサカキャッスル
〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1番1号
TEL 06(6942)2401(RAU) FAX 06(6947)3708
E-mail: info@osaka-castle.co.jp
U R L: http://www.osaka-castle.co.jp/

 カラダを動かすとココロが羽ばたく!
あましんスタジアム 

当金庫は、スポーツの振興を通じて地域活性化に取り組んでいます。

天草信用金庫



amashin

茶道部

天草高校茶道部は現在6名の部員で、外部からお茶の先生をお呼びしてご指導いただきながら、週に2回活動しております。最近畳の裏替えをしてもらいましたので、青々としたイグサの香る礼法室での練習に益々精進できるようになりました。茶道部に所属している部員は、ほとんどが初心者ですが部員それぞれ、少ない活動時間の中で日々練習に励んでいます。

茶道には多くの流派があつて、私たちは裏千家を主として稽古をしております。表千家では、お茶を点てないため抹茶の味わいを感じられる特徴を持ちますが、裏千家では、キメ細やかな泡を全体的に点てるためまろやかな味わいになります。

茶道で学べることは、茶道の基本的な所作や作法だけでなく、季節のお花や基本的な礼儀を学ぶことができます。また、先生方がいろんな地域や歴史の



あるお菓子を持ってきてくださるのでそれも私達部員の楽しみです。

大きなイベントとして、昨年6月に西の久保公園で開催された天草花しょうぶ祭りで野点をしました。見事な花しょうぶとともに味わうお茶は本当に美味しかったです。お客さんの笑顔をたくさん見ることができて大変嬉しかったです。コロナ明け久々の開催となりましたのでお客さんも多く大変でしたが、静かで落ち着いた雰囲気の中、あまり緊張することなく参加することができました。

7月には熊本市国際交流会館で裏千家学校合同茶会に参加しました。コロナの影響で4年ぶりとなる県下の茶道部が集まった茶会です。3年生の先輩方が半東と点前をし、1、2年生がお運びをしました。普段経験することの

ない雰囲気が出ていたため、全員が緊張していましたが日頃の練習の成果を発揮することができて大変貴重な経験になりました。

11月の文化祭は、

1日限定でお茶を点てました。当日は、無事お茶とお菓子を運んだり点てたりすることができました。また、お客さんのほとんどが生徒や保護者だった為あまり緊張もなくスムーズに進めることができました。これからも、茶道で学んだことを日常に活かし、人と人との繋がりを大切にして日々精進します。



茶花

「花は野にあるように」との千利休の教えにあるように、私は茶花が大好きです。

母も花が大好きで、生け花の知識もなかったが綺麗だけで、庭の花を手折って活けていました。庭の花も野の花に似た花が多かったです。私も母に似て気が付くと庭の花は茶花に似合う花ばかりです。

天草エアライン

QRコード



AMX 天草エアライン
伊丹⇄熊本⇄天草線運航中！

天草エアライン予約センター
TEL 0969-34-1515 営業時間 9:00~18:00
天草エアライン 公式

再び世界大会出場

天草高校科学部

天草高校「科学部ホタル班」は昨年3月、「つくばScienceEdge2023」に出場して見事「創意指向賞」を受賞して、グローバル・リンク・シンガポール（以下GLS）世界大会への出場の栄誉を獲得しました。

「あまたか関西」では図南会の呼び掛けに添えて、昨年の総会参加の皆さんに募金の呼び掛けをしました。なんとその場で10万円を超える浄財が集まり、来賓出席の校長先生に託した経緯があります。



さて、今回のGLS 2023には、会場は有名国立大学である南洋理工大學（NTU）に5つの国と地域からの200名弱が参加。11の会場に分か



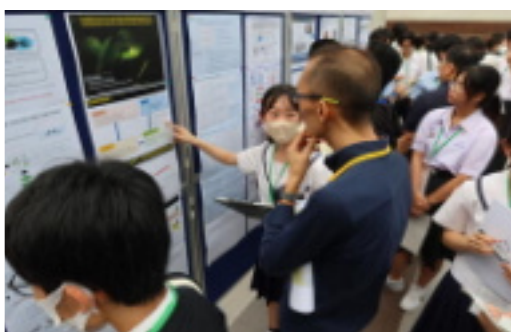
れ、英語でのプレゼンテーション（8分＋質疑応答10分）を行いました。「科学部ホタル班」は3人の女子生徒たちです。彼女たちは会場の観衆や審査員の目をしっかりと見て発表をやり切り、審査員の先生方からも好感触を得ることができました。さらに、他校のプレゼンテーションを間近で経験し、他校のプレゼン方法やスライドの工夫、英語の表現方法から多くを学ぶことができました。

午後からは2回目の発表があり、午前の発表を経て、どのような工夫をしたらもっと伝わるかを自分たちでしっかりと話し合い、実行することで、今回の発表で手応えを感じることができました。その後、サマリー・プレゼンテーションがありました。偶数・奇数のグループに分かれて全グループが発表を行い、多くのグループの研究内容について聞くことができました。自分たちの研究を知ってもらうために、積

極的にこちらから声をかける必要もありましたが、身振り手振りを交えながら、海外の学生にも一生懸命説明をしました。

午前中のプレゼンで顔見知りになった学校が聞きに来てくれたり、意気投合した他校の生徒と連絡先を交換したり。また、先生方も熱心に研究内容に耳を傾けてくださいました。スライドを使ったプレゼンテーションとはまた別のやり方で、聞く人の目を見て思いを伝えるという、コミュニケーションの大切さを再確認することができました。

南洋理工大学の学生のみなさんが企画してくださったアクティビティで他校と親交を深めた後、何と代表で天草高校がステージに上がり、GLS参加者みんなで輪になって天草ハイヤを踊りました。その後、明日の代表プレゼンに進むチームの発表がありました。結果はあと一歩及ばずで、他校の発表



を聞く立場になりました。夜の反省会では、自分たちに何が足りなかったのか、他校の良かったところは何か、今後後輩に伝えられることは何かなど、

じっくりと話す機会をもちました。明日、代表に残ったチームの発表を聞くと、また考えを深めたいと思っただけです。

彼女たちは、精一杯がんばりました！

え、私たち卒業生の誇りです。この大会に出場したことによって、彼女たちの人生に輝く足跡を残し、大きく羽ばたいてくれることでしょう。そして天草高校の生徒たちには、努力すれば報われるのだという教材を提供してくれました。同時に、後輩たちを世界の舞台に送り出すために応援してきた卒業生も、素晴らしい夢と希望をいただきました。ありがとうございます、素敵な後輩たち！



注 天草高校のHPを参照しました。
写真はHPから。

関係各位の皆様

Global Link Singapore 2023への出場について（お礼）

拝啓 時下益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、令和5年7月28日から8月1日まで、天草高等学校科学部がシンガポールで開催された標記大会に出場して参りました。大会参加にあたり、本校同窓会、育友会、県教育委員会、地元自治体や企業様をはじめ、多方面にわたる方々から、様々なご支援をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。生徒たちは「Establishment of Conservation Methods Based on the Luminescence Cycle of *Luciola Cruciata* and its Habitat（ゲンジボタルの発光周期と生息環境から考察される保護方法の確立）」というテーマで発表を行いました。ホタルの発光を動画で撮影し、約3000回の計測を通して、東日本は4秒型、西日本は2秒型が一般的であるのに対し、天草のゲンジボタルの発光周期が3秒型であることを突き止め、その発光周期は月明りや気温などの環境に影響されることから、ホタルと自然環境への負荷を考慮した保護施設を提案する研究内容を英語でまとめ、発表と質疑応答に臨みました。

初めての世界大会の舞台にかかわらず、生徒たちはしっかりと自分たちの考えを審査員や参加者に英語で発信することができ、貴重な経験を得ることができました。また、英語と日本語のプレゼンテーション構成の違いや、英語による質疑応答の対応など、多くのことを学ぶこともできました。さらに、タイ、ベトナム、台湾の学生とも英語を通じて交流し、世界に目を向けて研究活動に取り組む必要性も感じることができました。

文部科学省SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の指定を受けて7年、本校は「サイエンスの宝島 天草から世界へ！」のキャッチフレーズの下、着実に歩みを進めています。

今後とも、本校の教育活動に御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和5年（2023年）8月

熊本県立天草高等学校長 中川 正利

図南会



コロナ禍が明け、各地区図南会でも総会・懇親会が再会されてきました。まだ恐る恐るで手探りの状態でしたが、昨年の各地区の様子を紹介します。

中京支部

6月18日、ルブラ王山で「創立40周年記念大会」として開催されました。



記念大会というところで、ポニージャックスリダーで同窓生でもある玉田元康さん（高5）をお迎えして祝賀イベントが行われました。ギター演奏や玉田元康さんの懐かしい歌を聞き、余興の歌やハイヤ節等、手作り感満載のアットホームな総会・懇親会でした。

関東あまたか会

10月22日、スクワール麴町で「創立40周年・第35回令和5年度関東あまたか会」が開催されました。



チャババの演奏で、出席者集めに汲々としていた私達には羨ましい限りです。

大同窓会

11月12日、ホテルアレグリアガーデンズ天草で開催されました。今回の来賓は高校や各地区の関係者のみでした。お世話するのは、メインが高29回卒で、34回、39回卒の担当

か会総会・友好の集い」が開催されました。4年ぶりの対面での開催となったことで、高揚感に溢れた集いとなりました。ギターの弾き語りを聞きながら食事と歓談を楽しみました。「牛深ハイヤ踊り」の総踊りで盛り上がり、会員によるフルート伴奏による「ふるさと」や校歌斉唱もあり、盛り沢山な総会でした。

